

コロナ禍における 各国・地域の動向について (2021年6月)

6月4日現在

世界の新型コロナワクチン 累計接種回数

上位国と日本 (カッコ内は100人あたりの接種回数)

1	中国	681,908,000 (48.8)
2	米国	296,306,205 (89.3)
3	インド	213,135,738 (15.6)
4	ブラジル	68,244,216 (32.3)
5	英国	65,784,472 (97.7)
6	ドイツ	51,540,953 (62.0)
7	フランス	36,987,014 (54.7)
8	イタリア	35,435,853 (58.8)
9	メキシコ	30,990,908 (24.3)
10	トルコ	29,375,685 (35.2)
17	日本	14,775,865 (11.7)

北米・中南米

【米国】バイデン大統領は5月13日、ワクチン接種を完了すればマスク着用は不要とする新たな指針を示した。

【米国】国務省は5月24日、国民向けに出している各国への渡航の安全度を示した情報を更新し、日本に関してこれまでより1段階引き上げ4段階で最も厳しい「渡航中止の勧告」とした。

日本

大会組織委員会の橋本会長は5月21日、来日する大会関係者の見通しを、延期前の計画の約18万人から半減となる約7.8万人とした。

新型コロナワクチンの途上国への供給加速策を話し合うCOVAXワクチン・サミットが6月2日に開催され、途上国支援に向けた主要国の結束を呼び掛けた。

OECDが2021年の世界経済成長率予測を

5.8%へ上方修正 (5月31日) 新型コロナワクチンの接種が進んでいることなどを受けて、3月予測から0.2ポイント引き上げられた。一方で、日本は接種の遅れなどから0.1ポイント下方修正され、2.6%となった。新型コロナ対策の国際協力について議論する「世界保健サミット」が5月21日に開催され、ワクチンの公平な分配や途上国支援での国際的な連携強化を定めた「ローマ宣言」が採択された。

欧州委員会は6月1日、ワクチン接種のデジタル証明書の発行が、ギリシャ、ブルガリア、チェコ、デンマーク、ドイツ、クロアチア、ポーランドの7カ国でスタートしたと発表した。夏の観光シーズンに向け、7月1日からEU規模で正式運用を始める。

EU各国は6月2日、原則禁止している域外からの不要不急の渡航について協議し、渡航を認める国のリストに日本を加えることで合意した。

【ベトナム】保健省は5月29日、インド型と英国型の新型コロナウイルスが組み合わさった新たな変異ウイルスが検出されたと公表した。

【マレーシア】新型コロナの急速な感染拡大のため6月1日から2週間にわたるロックダウンを全土で始めた。生活に最低限必要な業種や一部の製造業を除いて経済活動が禁止されている。

今月のトピックス

欧州

アジア 大洋州